



八代神社の本殿 解体修復へ

県指定重要文化財である八代神社（妙見宮）の本殿が、建立から約400年が経過し、ひずみや傷みが進んだことから修復されることになり、専門業者による解体が行われています。部材が1つずつ丁寧に取り外されていくと、建築や修理の記録が判明。これまでに知られていないことの発見も期待されています。

来年の10月に、修復が完了する予定です。

（写真は5月下旬に行われた見学会。3ページに関連記事を掲載）